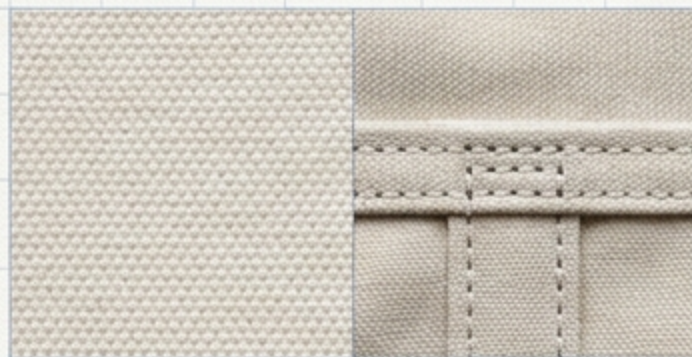


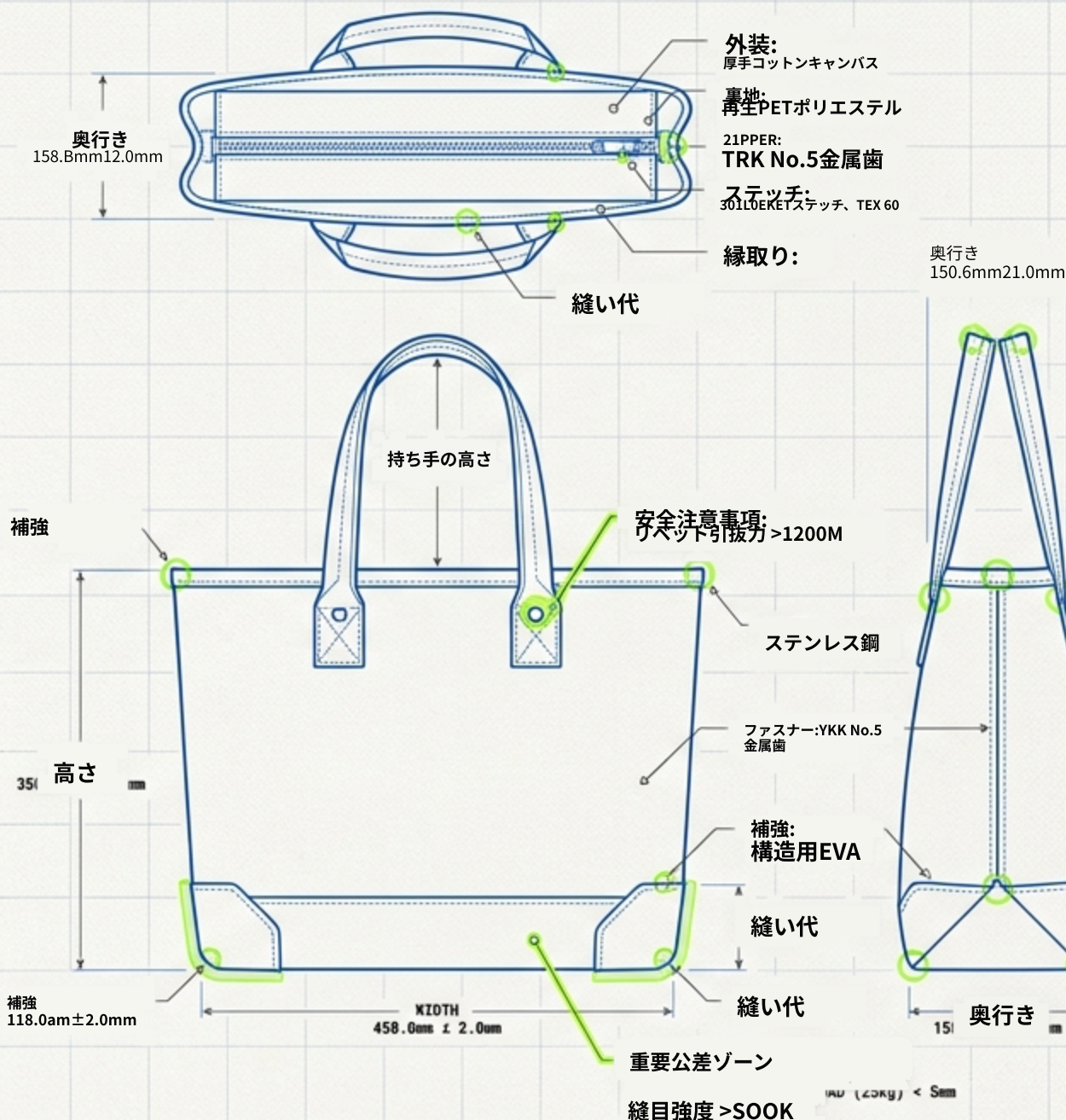
カスタム製品の 設計

キャンバス バッグ

技術調達 仕様書・ RFQ実務ガイド

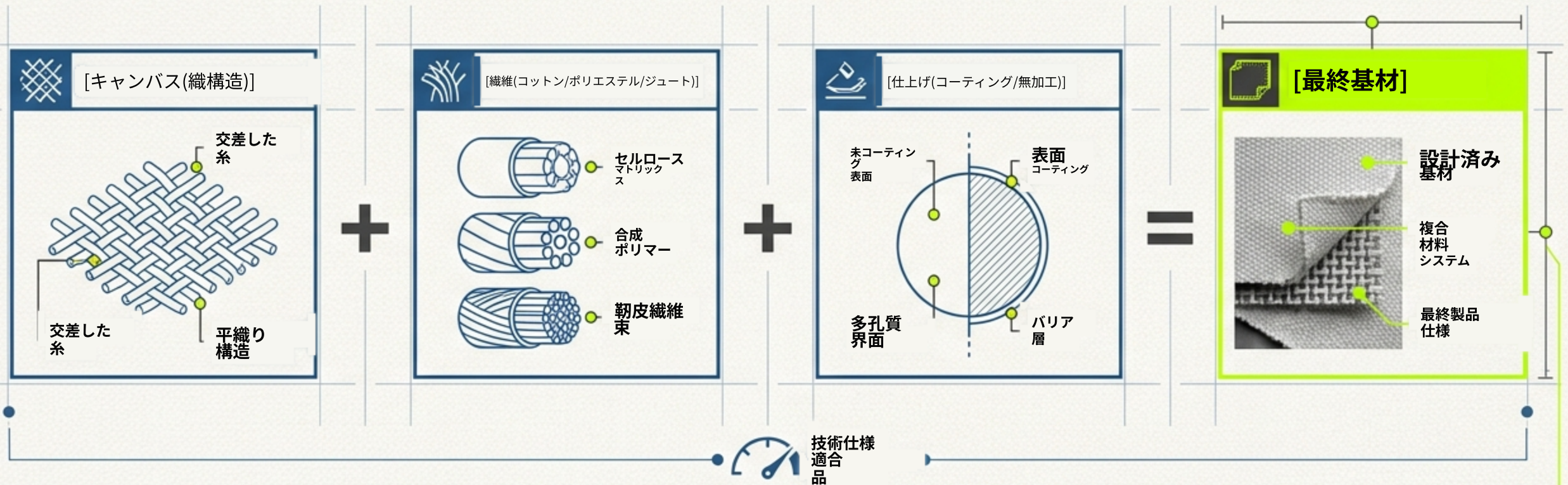


素材詳細:
18oz厚手コットンキャンバス、
織密度:21x21



キャンバスは構造を示す用語であり、繊維組成ではありません。

キャンバスバッグを、一般的なコットントート、ジュートバッグ、ポリエステルバッグ、合皮風バッグと同一視してはいけません。正確な定義が必要です。



必須対応: 一般的な製品名に頼らず、必ず提案する組成と構造をサプライヤーに明示させてください。

バッグを成形する前に 繊維基準を定義。

キャンバスの物性は大きく異なります。
形状を選ぶ前に、
バイヤーは実際の素材を定義する必要があります。

重量: 手触りが軽いか
重いか。

構造: 内装が裏地付きか
裏地なし。

処理: 無加工織物か、
耐性向上用コーティングか。



実際の使用条件が素材試験を決定します。

予定内容物、環境
(屋内、屋外、食品付近、湿った
物品)、ユーザーの期待 (配布品、
小売包装、長期使用) を説明します。

荷重、洗濯、汚れ、
色、天候への期待はすべて
物理試験項目に変換します。

制限 N

注意:

検証済みの試験と審査なしに、耐久用途、洗濯可能、持続可能な
調達、正確な繊維組成、印刷の永続性、耐水性を約束しないでください。
価格、納期、認証、保証についても、未検証の
主張を避けてください。

設計された構造が キャンバスバッグと単純な袋を分けます。

持ち手の補強:
最大ステッチ
荷重を決定。

ポケットと留め具:
使い勝手を決定。

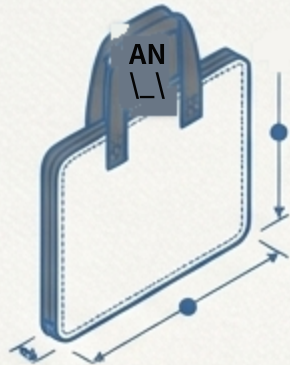
底部とマチ:
梱包形状と
容量を決定。

縫い代:
アートのワークの
適用に影響。



注: 構造型マーケットトート、ファスナー付きユーティリティバッグ、平型会議用トート、ボトルキャリアは、単純な布袋とは大きく異なる設計手法が必要です。

構造診断マトリックス。



平型会議用トート



マチ付きマーケットトート



角底キャリア

形状: 2Dシルエット、
奥行きなし。

形状: 拡張する側面
パネル。

形状: 平らで硬い
底面。

容量/嵩: 低嵩、
嵩張る物は収納不可。

容量/嵩: 柔軟な
容量、中程度の嵩。

容量/嵩: 大容量、
自立。

経済性: 非常に
経済的、コンパクト。

経済性: 中程度。

経済性: プレミアム。

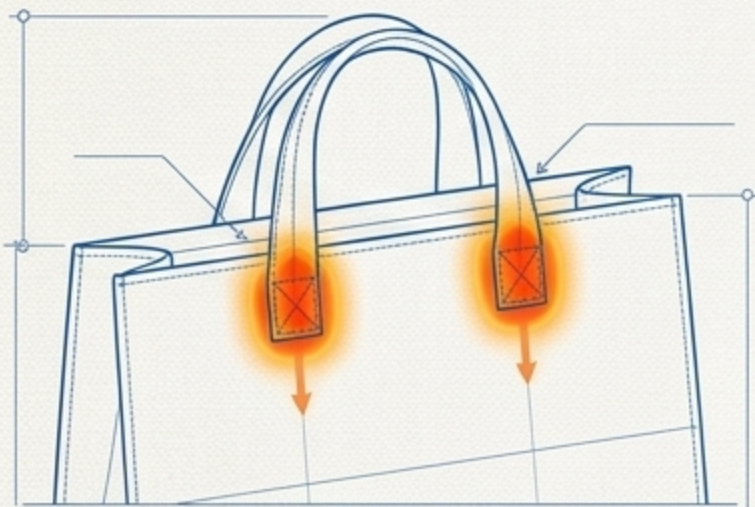
最適用途: 書類、展示会
配布品。

最適用途: 食料品、小売
買物、多様な商品。

最適用途: 重量物、プレミアム
小売、構造的な積上げ。

持ち手の形状が快適性と構造強度を決定します。

手持ち (短い持ち手)

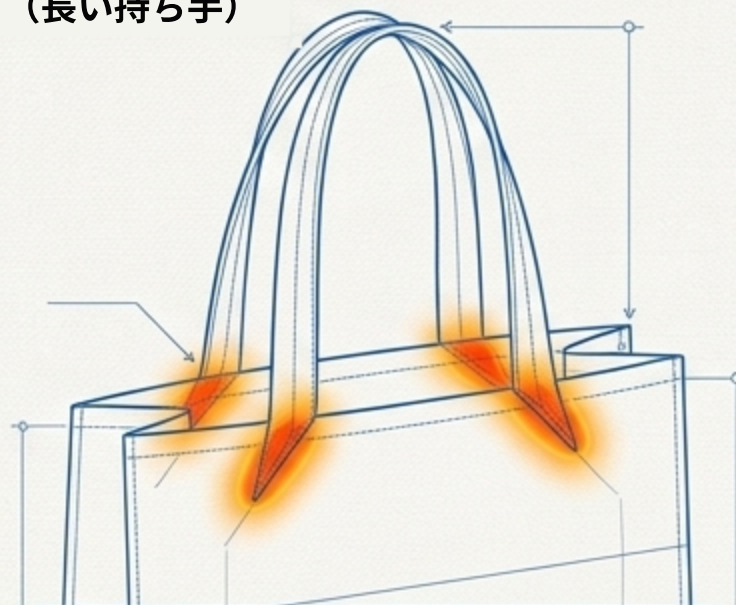


快適性: 重く密度の高い
荷物に高い。

ステッチ荷重: 直接下向きの力、
補強ボックスステッチが必要。

外観: 実用的、
ブリーフケース風。

肩掛け (長い持ち手)

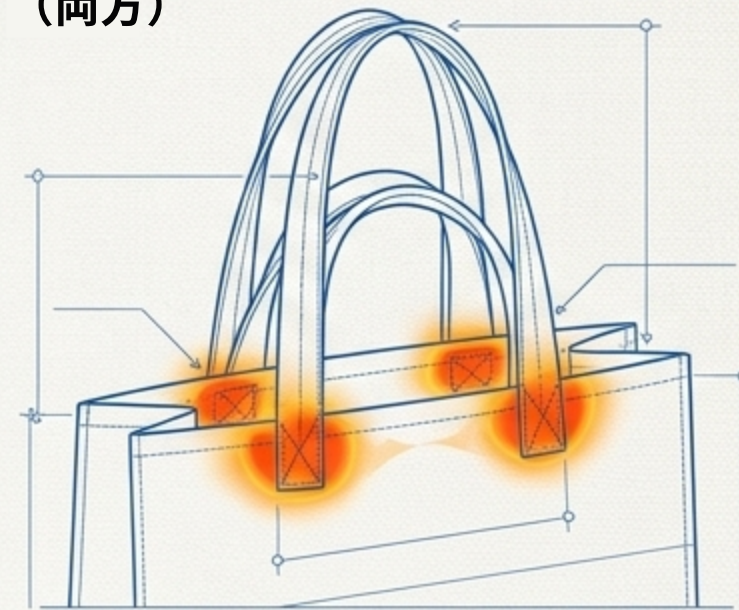


快適性: 両手が空くが、
大型重量箱には不向き。

ステッチ荷重: 斜めのせん断応力
が縫い目にかかる。

外観: カジュアルで標準的な
トート風。

2WAY (両方)



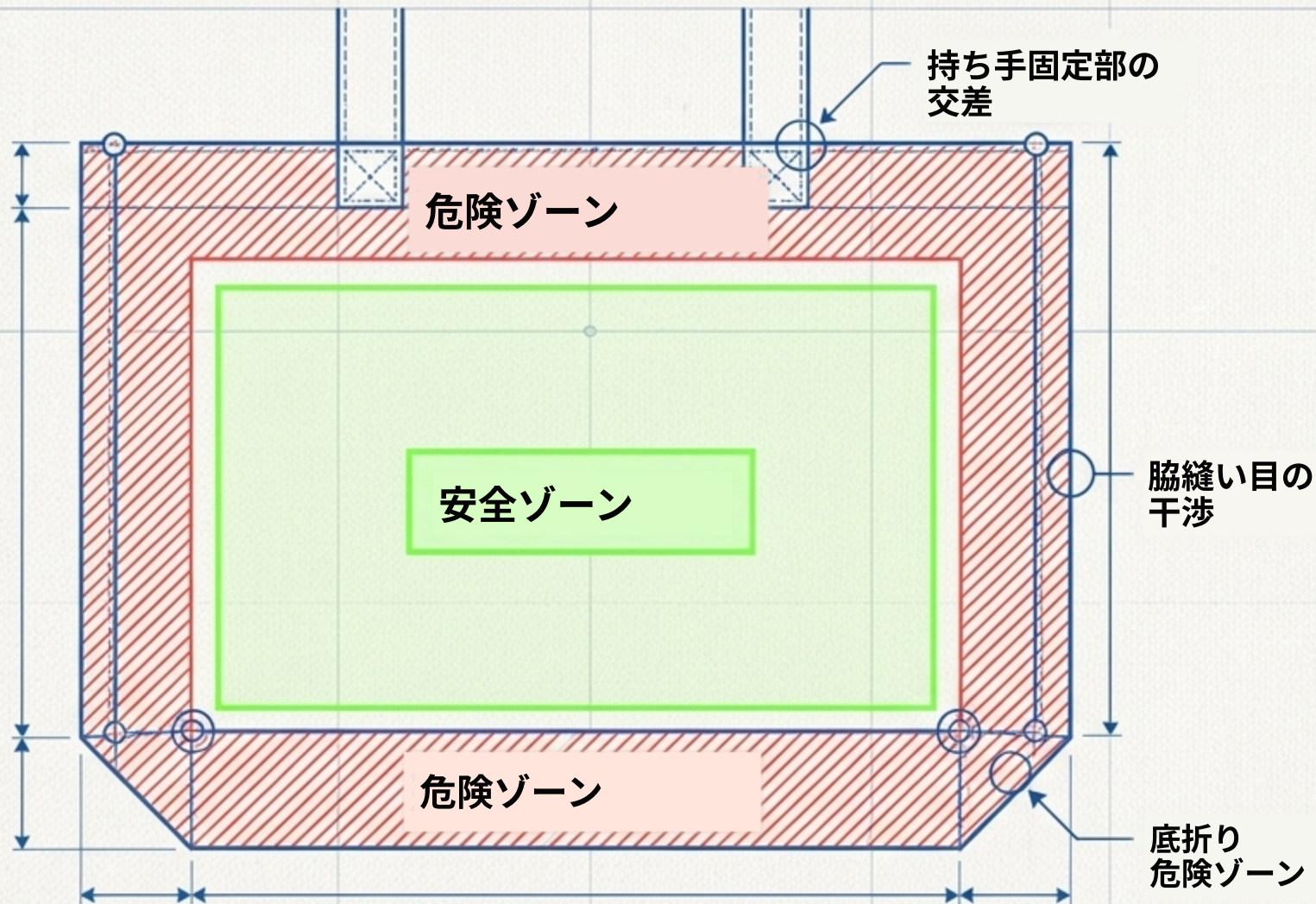
快適性: 最大限の汎用性。

ステッチ荷重: 複雑な
補強が4つの異なる
固定ゾーンに必要。

外観: 高級な
ユーティリティ/市場バッグ。

アートワーク適用時の技術的制約を把握。

キャンバスは大胆なブランディングに適しますが、正確な色、細字、写実表現、全面印刷には印刷方式の提案と承認済み現物サンプルが必要です。



技術的制約

形式:

アートワークはベクター形式で支給。
最終パネルと最大印刷範囲を指定。

配置:

重要な文字は危険ゾーンから
外す（縫製端、底の折り目、
持ち手取付部を避ける）。

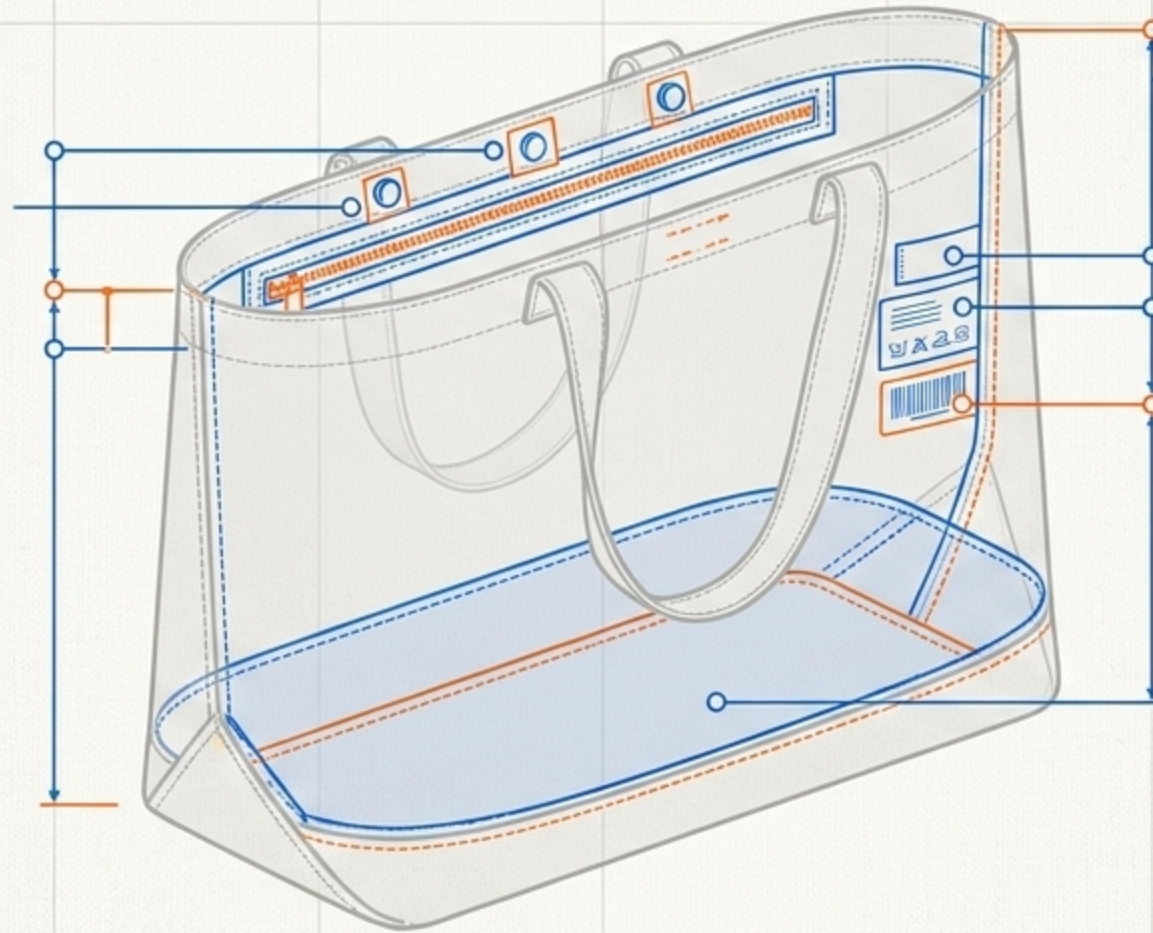
[b
e

基材の干渉:

縫い目、キャンバスの質感、布の
吸収性により、大きな
ベタ印刷面が歪みます。
特色の最終的な見え方は
校正確認の対象です。

内装仕上げと 金具組込みの指定。

マグネット留め具とファスナー:○
正確な機能上の
理由と希望
位置を指定。

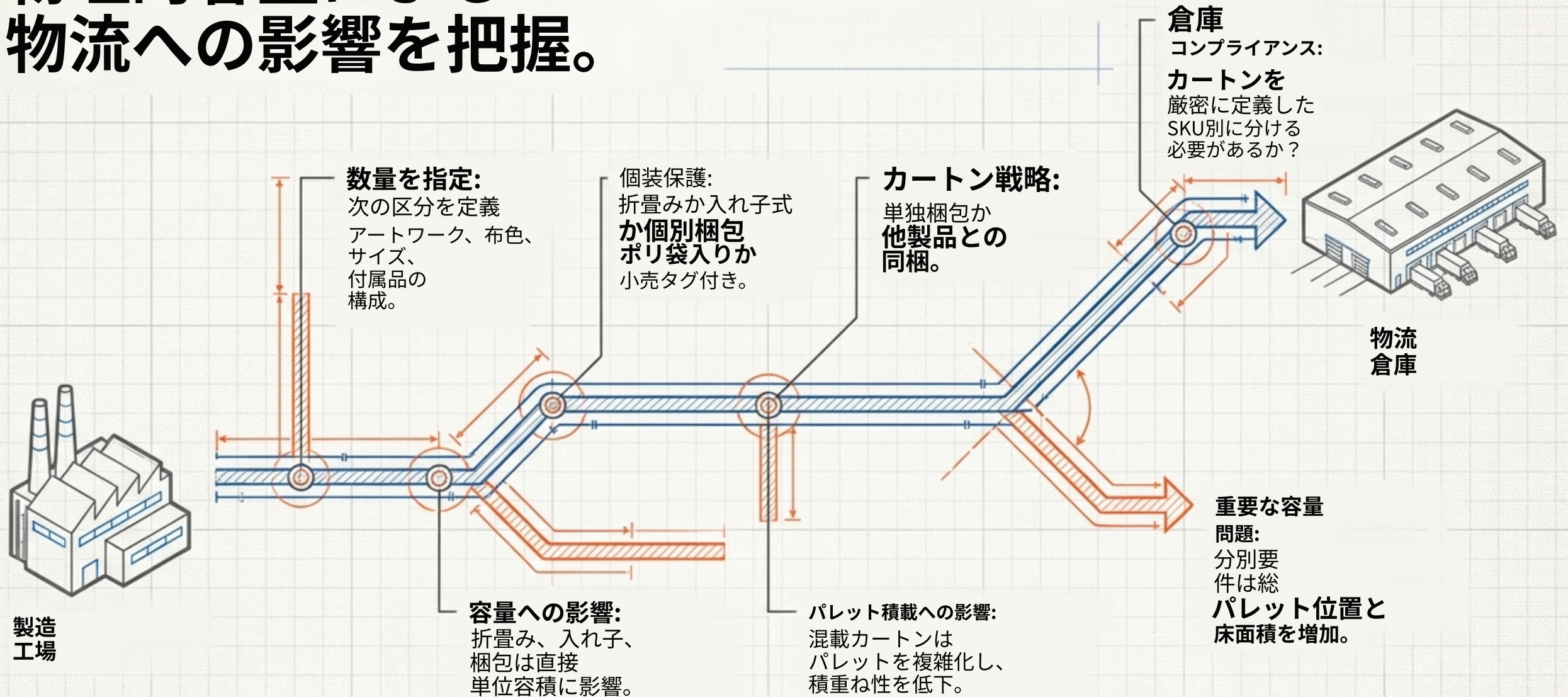


○内側ラベル:
**ブランドタグ、取扱
表示、バーコード
シールには正確な
配置データが必要。**

○裏地と補強底:
**構造強度または液体・
汚れからの保護に
必要。**

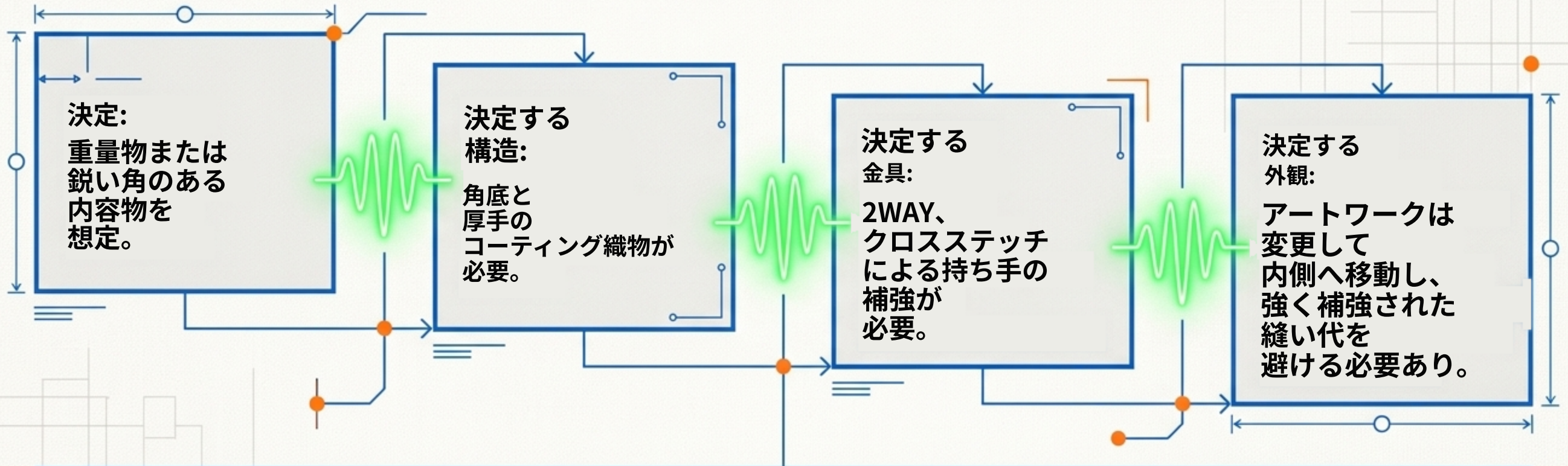
過去案件の参照サンプルは説明すべきですが、これら部品の
完全な技術文書として扱ってはいけません。

物理的容量による 物流への影響を把握。



波及効果: 1つの は 相互接続された

キャンバス バッグ
システムです。



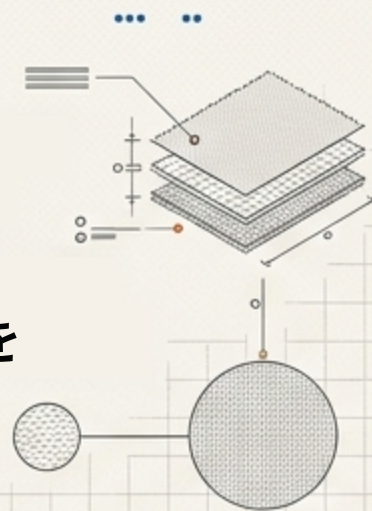
製造方法の
変更

最初の1変数が製品全体の
実態を変えます。

10項目RFQ統合エンジン。

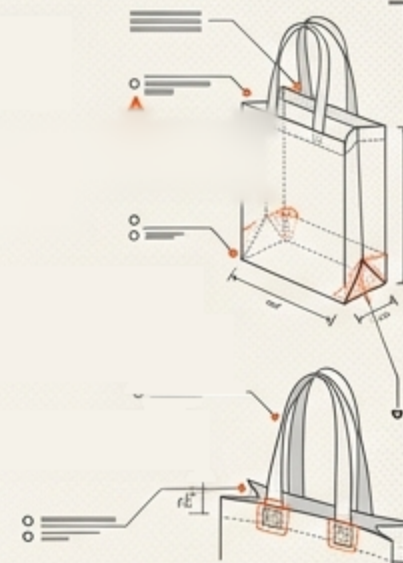
素材と仕上げ

1. 正確なキャンバスバッグ形式と想定用途は何か？
2. どの繊維組成、布地仕上げ、裏地、コーティングを確認するか？



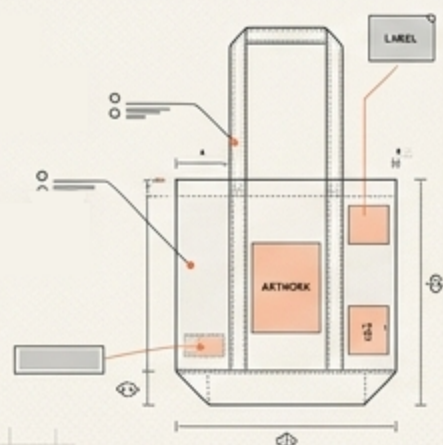
構造設計

3. どの内容物、形状、運搬方法が構造を決めるか？
4. マチ、角底、ポケット、留め具、補強が必要か？
5. 必要な持ち手形式と取付レイアウトは？



外観とプレゼンテーション

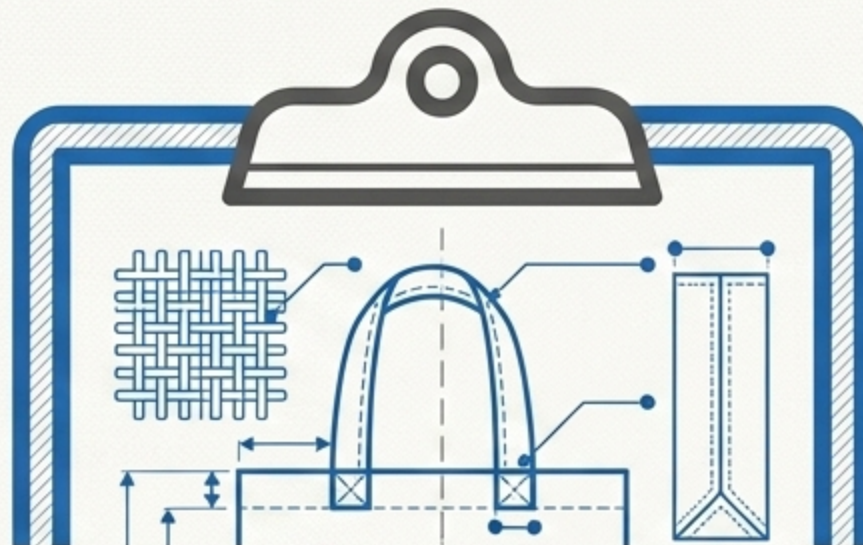
6. アートワークを縫い目、折り目、持ち手に対しどこへ配置できるか？
7. ラベル、タグ、インサート、小売展示用部品が必要か？



試験と物流

8. 細密デザイン、色、洗濯、〇摩耗、環境試験が必要か？
9. 適用する数量区分と梱包方法は？
10. 必要なサンプルと見積りの承認は？





技術的定義が思い込みに置き換わります。

カスタムキャンバスバッグのRFQを成功させるには、正確な生地構造、機能構造、持ち手経路、アートワーク配置、梱包方法を定義する必要があります。
単なるトートのシルエットではありません。



最終的な商業・技術上の確約には、厳密な見積り、ベクターアートワーク、現物素材の確認が必要です。